



行政・学校・大学・地域・民間が協働で取り組む社会課題解決

ジュニアスポーツ・文化活動地域展開事業

～ 持続可能な豊かな地域教育体制の構築を目指して ～

Part 01

改革の必要性と 地域展開の定義



部活動の地域展開が進行中

■ 文部科学省・スポーツ庁が部活動の地域連携を推進しています。



(スポーツ庁HPより)

文部科学省

令和5～7年度：部活動の「改革推進期間」

合同部活動や部活動指導員の配置により地域と連携することや、学校外の多様な地域団体が主体となる地域クラブ活動へ移行することについて、地域の実情等に応じて**可能な限り早期の実現を目指す**よう、各自治体に求める
(スポーツ庁HPより)

休日の部活動を

学校



地域

なぜ、部活動改革が必要か？

A. 「子ども達の持続可能で豊かな文化スポーツ活動体制」を作るため

背景

1 少子化による生徒数の減少

学校単位での活動の限界



- ・平成の30年で中学生数が**40%**減少
- ・チームを組めない部活が多数存在
- ・できる種目が限定されている

2 教員の大きな負担

教育活動の質低下 教員志願者の減少



- ・国際的に日本の教員勤務時間は非常に多い
- ・社会全体の働き方改革の推進

このままでは、子どもたちがスポーツ・文化活動体制を維持していくのは難しい。持続可能な体制を地域全体で創っていく必要がある。

Part 02

つくば市が目指す 改革ビジョン



つくば市における部活動改革のビジョンとミッション

ビジョン

持続可能で豊かな文化スポーツ活動体制を構築することで
子ども、及びつくば市民のウェルビーイング※を実現する

※ 人との“つながり”を感じ、心身ともに健康でいきいきとしている状態

ミッション

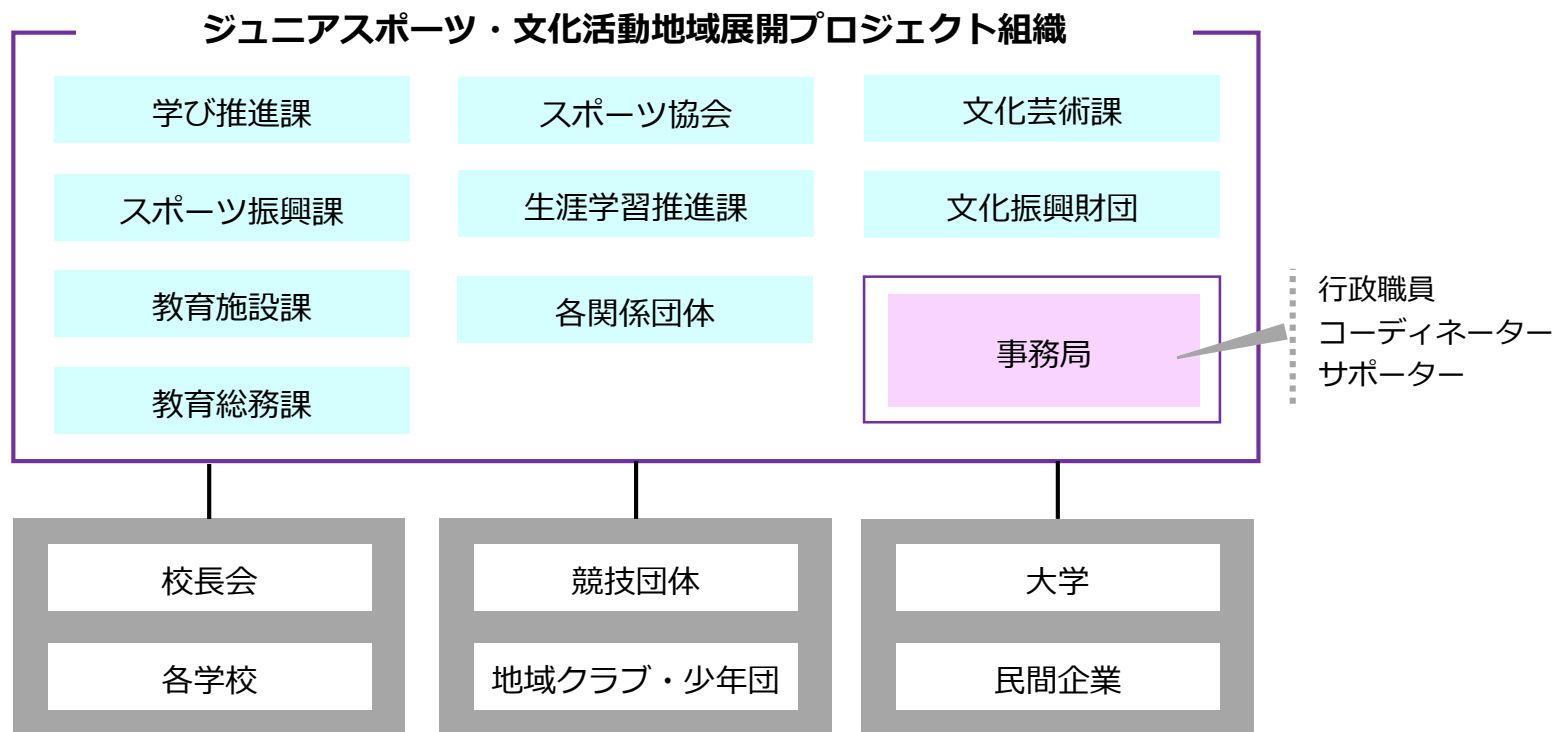
- 子どものニーズに応じて、**健全かつ多様な文化スポーツ活動を選択できる環境** を創り出す
- 教員が専門性を高め、生徒に向き合い、**質の高い学校教育を提供できる環境** を創り出す
- つくば市民に開かれ、生涯にわたって関わり続けることができる **文化スポーツ活動コミュニティ** を創り出す

Part 03

改革実現に向けた 組織体制



つくば市における改革推進組織体制



Todo

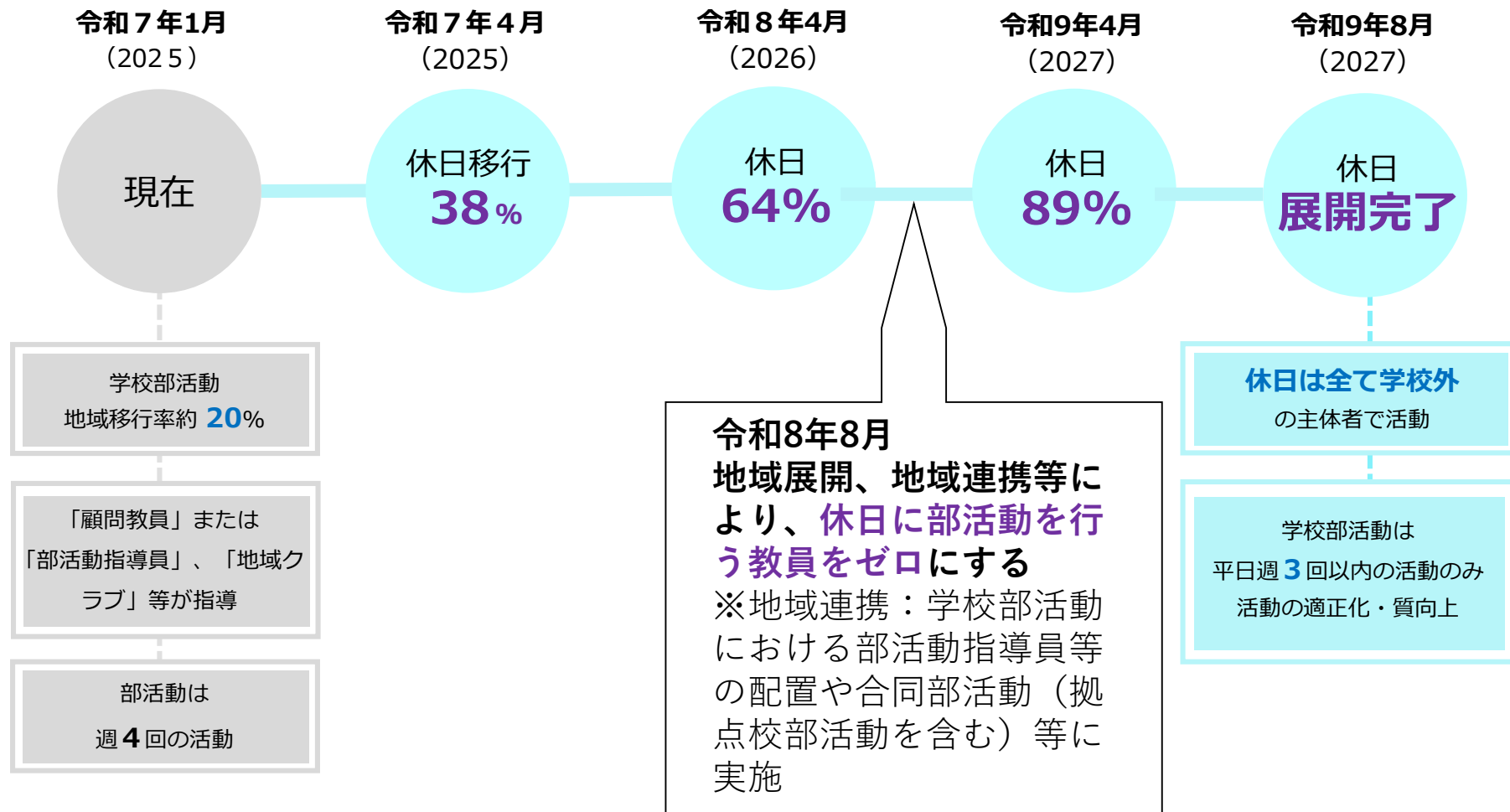
Part 04

改革ロードマップと アクションプラン



部活動改革の目標設定

■ 令和9年8月原則、休日の部活動地域展開を完了とします。



部活動改革ロードマップとアクションプラン

- **令和9年中の休日の部活動地域展開を達成するためのロードマップとアクション**です。

